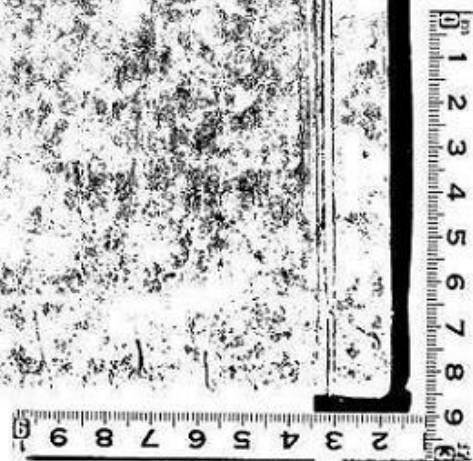


文政七甲申夏異國傳馬船
大津濱上陸并諸品圖等

092
580
43

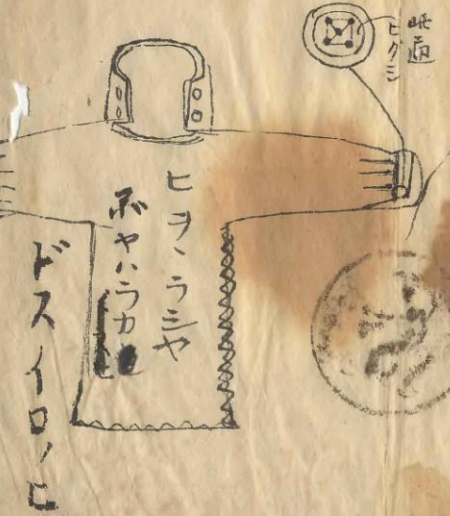
092
580
43



銀錢

銅錢

銅板



ドスイロ、ヒ

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely describing the items shown.



Handwritten Japanese text on the left side of the bottom page.

水主三十七人

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、中、相、列、
浦、頃、去、永、同、
川、尾、村、屋、屋、木、
仁、右、木、村、古、号、
木、形、水、
本、村、政、年、之、外、
河、原、子、村、橋、原、
吾、之、名、由、し、
交、各、水、邊、と、
延、久、



一 船中既白馬を乗せ
シツクイヌリ
一 船中人形ハシツ
クイヌリ
一 船中人形ハシツ
クイヌリ
一 船中人形ハシツ
クイヌリ

何京子村之渙船界國人ニテ不
難功レ丑物ナリ如是、予泣也

水木村ナニ

徳利ハ虫口ニ入リ死ス

三寸位

是ハ男カおアリ寸カ



外ニ入ル虫ハ死ス

ビイド口銘銘名付徳利ハ虫口ニ入リ死ス

此虫ヤリナシ一寸位
瓶大ナキナシ

銘銘子ナシ



口長四寸位
口也三寸位
口下五寸位

是ハ金瓶村ナニ
瓶大ナキナシ

一鉄瓶ナニ



是ヨリ下ナシヤリ

何モヤナシ一寸位
瓶大ナキナシ

但シ拾角ナニ
口長四寸位
口也三寸位
口下五寸位

此下は子ギニテクリ也
 是は國人面シはる由

The Secretary of London.
 Cotton Library.

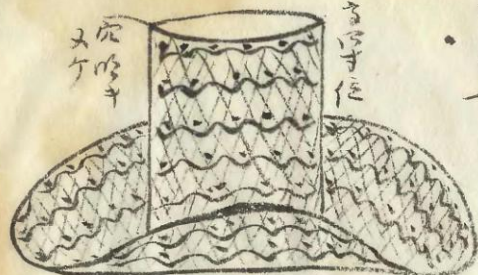
King George the Fourth
 King of England

The British Library of
 Science and Technology, London,
 Great Britain.

July 1863

此よりハ此よりノ入印物性入るゝと云々此物ノ事
 見たり今更ニ此物又未だ同ノ如ク透ノモ
 コウアリ此物ハ此物性なる事

新嘉坡新聞



又ケ

高寸位

黒い帽子はス、ケアカ身臭いアリ

新嘉坡新聞

是は田尾村傳ふ船水主のモノト
糸と紐録一ツ若クハの紙もふツ

毛ハケ方ノ柳墨持毛ヶカシ五シカリ何ノ
カワミナリノハケ方ノ様及信ノ居ナニ方
信ノ隔ノ皮ツ以ニ多信信ニ細代ヨリ
アミミラ麻糸白ラヤル糸ミラ也信又
イヨナサニ松ヤサノ如シ



THE NEWS.



1848

1848

28

1848

河原邑漢船ノモノ也

是ヨリ以下文字上七字形文字ニテ此方ヨリ
ヨリモ細字ニテ略ス但西面ナリ板行物紙ノ大ナ
如國此方ノ唐紙板ノ合ニテ登ナリ
長キ方一ツ三ツ位
積七ツ

是は裁判アリ

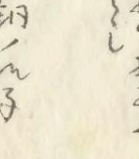
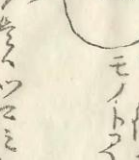
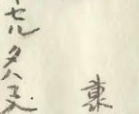


一 浅板ノ物ニツ

表

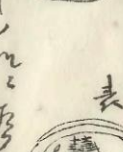
東を形とし頭が形なり

川尻打有七等ト



一 王ノ染アリ
川尻打有七等ト
東を形とし頭が形なり
川尻打有七等ト

川尻打有七等ト



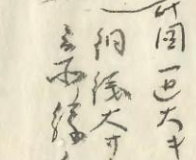
是ハノツキノ物ニおとし

日付七等ノ年々等ト

一 ツツ風呂丸ニ取

内及 但ハバズ大ニ元寸位
地等ニモヨウ隆如也

表



日付七等ノ年々等ト
一 ツツ風呂丸ニ取
内及 但ハバズ大ニ元寸位
地等ニモヨウ隆如也

日付七等ノ年々等ト

一 年百粒丸 赤玉シイ十文ニシテ日付ノ下白玉位ニシテ品

日付七等ト

一 唐キ三十二粒丸 日付ノ下ニシテ品

日付七等ノ年々等ト

一 風呂丸ニ取 日付ノ下ニシテ品

日付ノ上袖位白地ニシテ品

位ニシテ品

但ツリモノ也

日付七等ノ年々等ト

一 年百粒丸ニ取 但ツリモノ也

日付七等ノ年々等ト

一 年百粒丸ニ取 但ツリモノ也

日付七等ノ年々等ト

一 年百粒丸ニ取 但ツリモノ也

日付七等ノ年々等ト

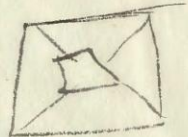
一 年百粒丸ニ取 但ツリモノ也

日付七等ノ年々等ト

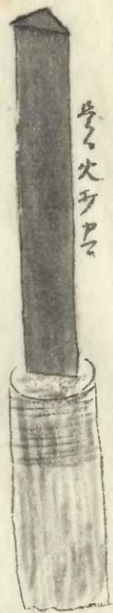
一 年百粒丸ニ取 但ツリモノ也



日打即然形等
表裏共に上白
大才也同厚一丁位



古四丁位
横丁位



火打石

火打石一本但長三寸位
柄年三角一丁二丁位
一寸半丁位



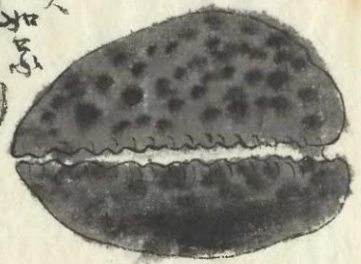
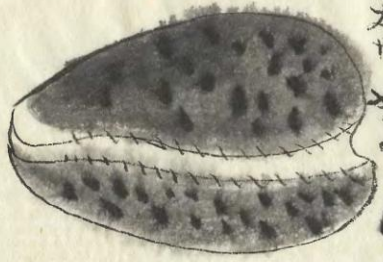
川尻村在七丁位



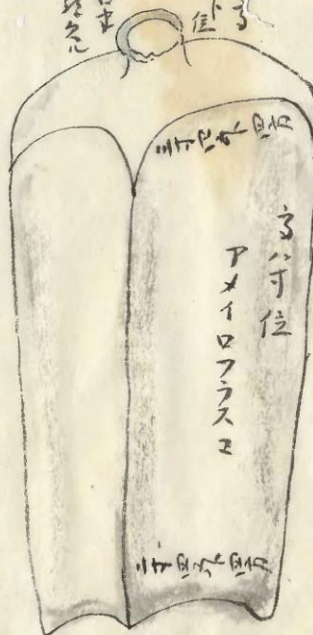
小刀 水打石形等好しモノ等一丁位
三子厚一分位
可不改ニハシキし品

可不改ニハシキし品
可分曲クハナリ柄ノ内ハ入ル
好しモノ柄七三寸半
位ニテ角ノ柄等子

子安貝
如家



但只半
可佳



同村修筑舟塢



火步石
性合ハ
一丁方石
二似赤石
翠色



高守金
移居吳
中七父年
陽字物理
一折五

會州府傳方舟七等

頭巾



露香校

12/11/1947

五世行傳

一風呂麦一奴

望麻接市線

此
之
赤
ト
其
：

予の所無慶之



子安貝大廿廿圖

丹波



未七月十三日 久松町より舟しを告
ホ夫ニラテ トカ刀ニ從

長奇巾一寸位
色丁一収
桐子三寸ヨ丸
木ニテ夜モノ

桐葉三寸ヨ丸
木ニテ夜モノ
新ト云

洞玄真人物系文卷第五



大有如閑

フタノ内端々人形示

アクリル



身主日又内銀ナカレ

蓋白地、朱色繪如赤

大才如國

鉄込子桶又カノ瓶等

鉄迄カ子桶タカノ松也足、右十二不大サ如景



川原村漢和者仲人ニ世及不カ
 有寸位廻リ 有寸人位

長サ三寸位

口持後三寸位
 寸大申紙位
 色青

川原村ニ漢和異國人ニ世及不カ



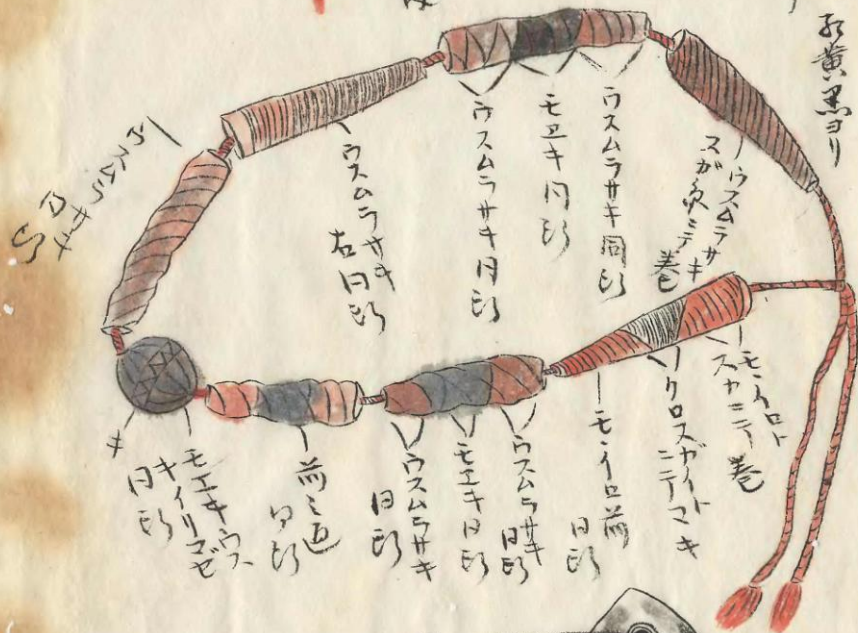
寸大	申紙	二牧	位

銅判面 有寸牧 有寸紙 有寸牧 有寸位

寸大	申紙	二牧	位
寸大	申紙	二牧	位

トラシイト 有寸黄黒ヨリ
 糸ナリ

シンハバカノ
 サクラノ木
 何モ糸
 巻
 今有例村
 八品三内



河原村ニ漢和異國人ニ世及不カ



鉄物根カ





洗ハボタン

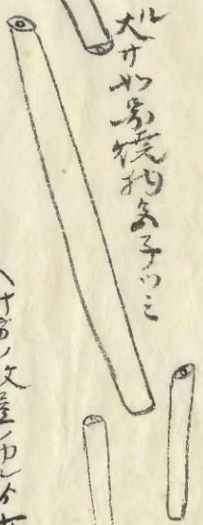
アサ云フ条加付



随クルミ
長ねツ
トヒイロラ
ヤイタ珍
頭



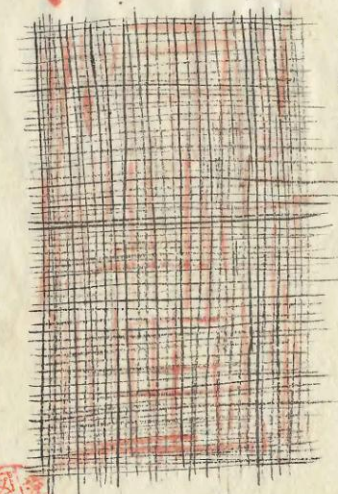
折キセル
大サハ焼物多子ツミ



竹戸蚊屋也レカシコマヤハラカ也
帆切多ハイロ大サハ同



水本村田品内
銃炮玉



柄大サハ同

象ゲル



柄ハツヤラ

子安貝
大サハ同



川底打ミ漁
松ミ大仲今カ
サハ品



貝安子

水本村田品内
同キセル
ヤサ物
クハ



ミツ折レ
ウナミ

柄大サハ同



銃切道具 大サハ同

水本村田品内
銃炮玉



カサ



書物



銅ハシ

分 石 井 氏 氏 同 郡 方 々 追 々 市 入 之 終

文政七年申四月十二夜、小風、大川、舟、七、八、生、水、皆、日、
三、列、下、田、大、船、み、馬、後、送、帰、船、空、舟、由、在、大、風、
松、平、大、堂、氏、氏、領、地、幸、陰、同、鹿、島、郡、平、井、邑、之、
心、一、浪、形、に、建、つ、ま、し、空、船、又、々、も、船、方、し、
傳、る、と、上、陸、言、怪、我、依、ら、由、お、終、ら、ま、し、由、
帆、柱、切、捨、石、船、方、大、川、の、海、金、の、生、殺、ま、し、物、
今日、沖、に、異、國、船、に、艘、を、垂、し、石、大、風、に、帆、を、
り、由、金、の、海、と、妙、と、り、お、舟、の、ま、し、
由、松、川、の、海、の、歌、り、中、村、次、の、名、日、の、
後、中、村、次、八、海、の、作、お、に、月、の、
お、の、海、の、名、子、の、ま、し、馬、子、物、
造、し、



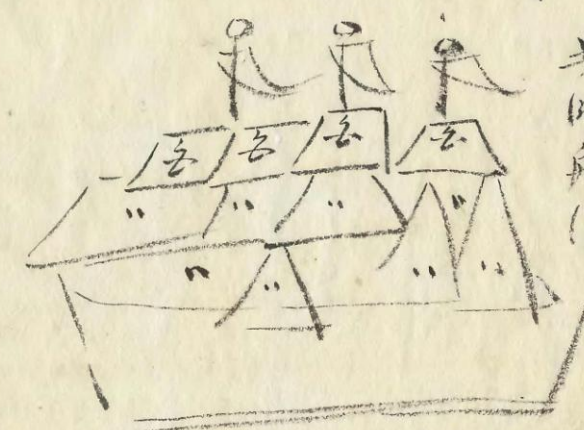
一、政事申す月五日、又、磯村が在望、安国船とて、同を
 七、金、之、帆、白、く、く、を、同、く、く、三、増、く、い、能、大、く、く、
 且、又、の、船、み、つ、い、を、へ、信、近、十、七、八、丁、く、く、大、船、多、く、く、
 も、く、く、く、く、由、出、く、く、信、近、く、く、由、出、く、く、く、く、
 新、く、く、く、く、日、を、新、く、く、信、近、く、く、く、く、
 信、く、く、く、く、く、く、大、船、に、艘、く、帆、く、房、く、く、
 年、を、く、く、く、く、大、船、西、日、を、く、く、く、く、
 信、く、く、南、く、方、鹿、島、く、方、南、三、艘、く、く、
 く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、
 一、里、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、
 の、方、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、

異國船図



く、く、く、く、

異國船図



西、作、所、候
 い、ま、の、く、
 く、く、く、
 く、く、く、
 ち、く、く、く、



綿毛房本毛短と鼻下へさうと目玉青を感言と
うてえへりあのか後又さう思ふへりあのか弱と
イキル人こそさういふ所あるへり思ふ事あるの
程程もさういふ感と示のめ思ふへり思ふ事ある
程程も人知事あるか及中同じ思ふへり思ふ事ある
山形へ思ふへり思ふ事あるか及中同じ思ふへり思ふ事ある
由來とあぬ思ふへり思ふ事あるか及中同じ思ふへり思ふ事ある
と上は思ふへり思ふ事あるか及中同じ思ふへり思ふ事ある
思ふ事あるか及中同じ思ふへり思ふ事ある
三まふ思ふへり思ふ事あるか及中同じ思ふへり思ふ事ある
ふ思ふ事あるか及中同じ思ふへり思ふ事ある
思ふ事あるか及中同じ思ふへり思ふ事ある
思ふ事あるか及中同じ思ふへり思ふ事ある

二天は海舟の舟に渡り月を眺め、あんな静かな夜に
に渡りあんな静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に
そと又渡りあんな静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に
五月の月、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に
をかき、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に
あんな静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に

は静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に
五月の月、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に
をかき、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に
あんな静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に
あんな静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に、あんな静かな夜に

所見の事御傳知し奉る所ありしにあらざる
相傳及し移りし上り候に在り候に候に候に
とらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
口上りしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
生るる一とらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
中候一とらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
とらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
少とらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
三月分給ふ所ありしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
とらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
聖なりとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし

おとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
病く多しとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
由信とらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
とらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
たしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
本しとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし

口上りしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
口上りしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
口上りしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし
口上りしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いしとらちり大いし

五かけの月夫より動く元浪言ふ少少身はあれ
 めのり好く教へ由ればふくろくしりて
 かめとたてゆへにふくろくしりて
 ころ

[illegible]

金後々抄を今述ふ火の移りゆく相来しを
地の傾くこと遠く大振し由緒人

一異人捕まゆ場子にありて武よりある位のおはよ
白るの谷前より大幅二間之より何れも其の人位を
りし由緒馬二匹以下より楊梅を虎を重くたてあり
子玉まはし人位を固にたてし其村は久松に大橋を
一程は色廣きゆより三所四所位に陳幕ヲ張る儀
等々之を立主大角教院傳主は多し句論山とて用意
者重くあり

一又上人上座より古村久人後より上座より人あり其より
又人後絶つる者よりなり其より要より鶴と相来
右後絶つる者より形を以てし今後絶つる者より
めいして後よりなり其より要より鶴と相来

一食事より小食より上座より白米を非きし其より
より七合より相いより大根葱鶏肉をぬき其より
申煙よりぬき相来と生し其の火をえり

れとせしれとあえし又烟草生あまの合衆の
多だこの事なる成るは出しと持てしなると
色とくおくし由里く

一夫人を待たむとて眉毛口鼻極く白くく
王白駢く之を恥ぢてあまの水御達者なる山
紙之をくせし由又之を二人王に後を仁く白く
様と付頭中子様なりとてし由髪へ赤玉の鼻を
口少く月黄色眸子白く髪を夜形にて有る様

皮を色く此より衣後へ何せし様ゆのなるはし
一夫人を待たむとて自由大なる舞踏し方持てし様
是へ様を長し様なりとてとゆうとてと目あし
人となる事稀に成る時心天を仰き又地とて
歩みとてとて様なりとてとてとてとてとて

大津村の老人曰かりし時天地とてとてとてとて
是へ天と様我々の事とてとてとてとてとて
又ある人曰ふのとてとてとてとてとてとて
あめの子とてとてとてとてとてとてとて
一荒川村にて人々を待たむとてとてとてとてとて

